

よしみ

議会だより

平成28年
3月定例議会

No.143

- 平成28年度の各予算決定 P 2 ~
- 主な議案の内容 P 4 ~
- 一般質問に8名登壇 P13~

平成28年度の予算可決

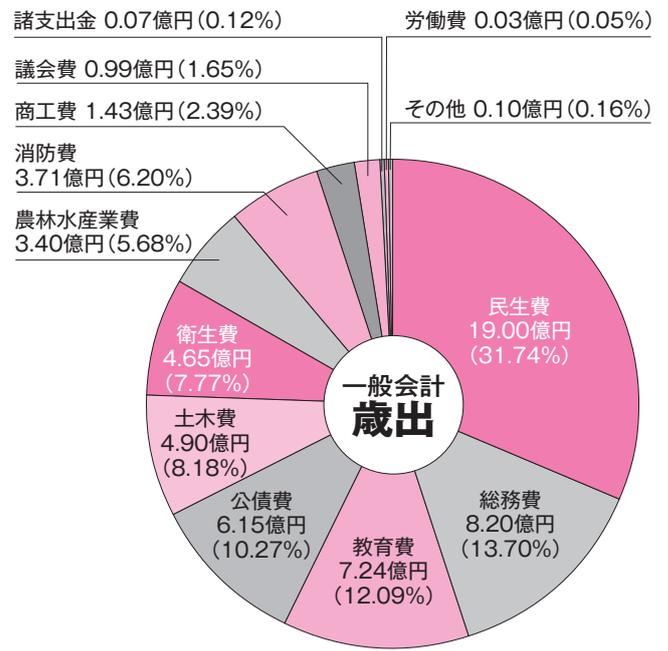
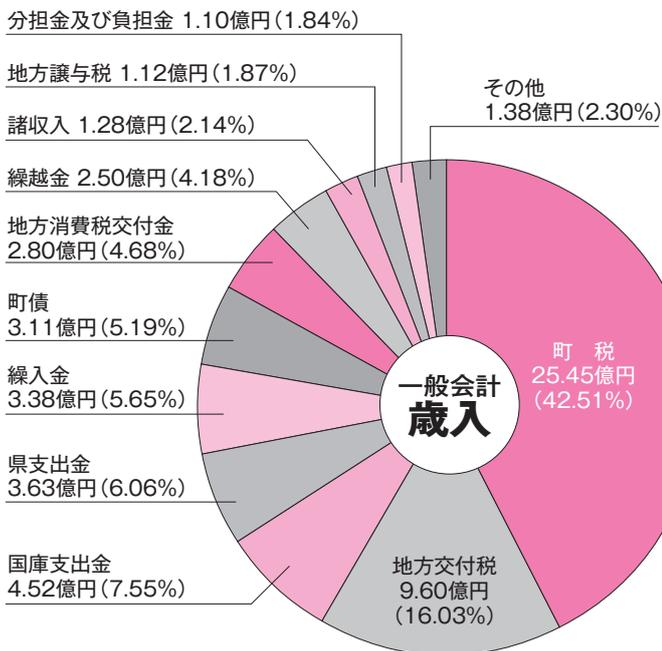
地方創生加速

3月定例会は、3月1日から22日までの22日間の会期で行われました。

平成28年度の各会計予算、平成27年度一般会計及び特別会計補正予算、規約の変更、新規条例及び改正条例、人事案件等36議案(追加議案を含む)が上程され、すべて可決、同意されました。

なお、平成28年度一般会計予算は、当初予算60億円から1269万8千円の減額補正があり、59億8730万2千円となっています。

平成28年度一般会計予算



交付金 2事業決まる



P4へ

各種会計の予算は—

会 計 名		予算額(1万円未満切り捨て)
一般会計(当初予算)		60億円
一般会計(補正後予算)		59億8730万円
特 別 会 計	国民健康保険	30億6700万円
	後期高齢者医療	1億5994万円
	介護保険	14億792万円
	百穴管理	1680万円
	下水道事業	5億512万円
	農業集落排水事業	2億6628万円
公設浄化槽事業		1880万円
企業会計(水道事業会計)		8億5544万円
合計(当初予算総額)		122億9730万円
合計(補正後予算総額) H28.4.1現在		122億8460万円

予算審議の流れ

一括上程、説明、委員会付託

2つの常任委員会で審議

委員長報告 P10・P11

質疑、討論 P9

採決、賛成多数で可決 P12

地方創生加速化交付金

吉見町が作成した地方創生加速化交付金
実施計画に基づく事業に要する費用に対し、
国が10分の10(100%)交付します。

H28年度中に実施

主/な/議/案/の/内/容

※質疑等があった議案を掲載しています。

●議案第5号 吉見町行政不服審査法施行条例

内 容

行政不服審査法の施行による、吉見町行政不服審査会の組織及び運営、法施行に必要な事項を定める。

主な質疑

問

行政不服審査会委員の構成は。

答

弁護士、大学の先生、町の有識者を考えている。

問

審理員の意見に対して、審査請求人が不満がある場合、審査会に対して陳述をしたり、意向を伝えたりすることはできるのか。

答

審査請求人から申し出があれば、審査会に対して主張する文面の提出や口頭意見陳述の機会が与えられる。

議員

提出者

●議案第7号

地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例

内 容

地方公務員法の一部改正による、関係条例の整理。

主な質疑

問

人事行政の公表の内容は。

答

職員の退職管理の状況、休業に関する状況、人事評価の状況などを公表するもの。

議員

提出者

町民行動基本計画策定事業

国庫支出金1900万円＋一般財源200万円

- ◆町民懇談会・検討会・地域公共交通会議開催
- ◆町の実情に合致した行動基本計画作成
- ◆運行状況・時刻表・乗り換え・連結情報など簡単検索インターネットアプリケーションの開発

※ 農産物6次産業化チャレンジ事業

国庫支出金4300万円＋一般財源500万円

- ◆農産物6次産業化推進の全体計画作成
- ◆道の駅のいちご栽培施設内設備改修・冷凍庫等整備
- ◆新商品開発・パッケージ作成・マーケティング調査・販路開拓など支援業務委託

1次産業
生産

×

2次産業
加工

×

3次産業
流通販売

=

6次産業化
所得の向上
雇用の創出

※農産物6次産業化とは、農業者が農産物の生産（1次産業）に加え、加工（2次産業）や流通・販売（3次産業）にも主体的にかかわり、農業経営に新たな付加価値を取り込むことです。

●議案第9号

吉見町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例

内容

農業委員会等に関する法律の一部改正による、条例の改正。

主な質疑

問

農業委員の年俸は変わるのか。

答

2年後、新しい法律が適用となる時点で考えることになる。

議員

提出者

反対討論

日本共産党 杉田しのぶ議員

この条例は、農業委員会制度を大きく変える公選制廃止を認めることにつながる条例改正であるため反対である。

議員

●議案第10号

吉見町一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

内容

職員給与の総合見直し及び期末手当の支給割合の改正。

主な質疑

問

職員給与の総合見直しをした場合の引き下げの最高額と最低額、また引き下げとなる人数は。

答

試算では、引き下げの最高額は2万2700円。最低額は1400円。人数は46人。

議員

提出者

反対討論

日本共産党 杉田しのぶ議員

吉見町は、地域手当無支給地域で、多くの職員が引き下げとなる。生計費が最もかさむ50歳代層の給与を最大5%も引き下げるとは、経験豊富なベテラン職員の士気の低下をもたらすものでしかない。

議員

●議案第11号

町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例

内容

町長等の期末手当の支給割合の改正。

主な質疑

問

3役それぞれの期末手当引き上げによる影響額は。

答

町長8万3040円。副町長7万1640円。教育長6万7800円。合計で22万2480円。

議員

提出者

反対討論

日本共産党 杉田しのぶ議員

職員の給与の引き下げも行われる中で、労働意欲を持ってしっかり頑張ってもらおうと激励する立場にある3役の期末手当の引き上げは見送るべきである。

議員

小宮 榮議員

賛成討論

市長などと比べると報酬に差がありすぎる。多くの仕事をこなしているのに、安いぐらいだと考える

議員

反対討論

戸谷 照喜議員

町民の収入が落ち込んでいる中で、町長等の期末手当を増やすことは、町民の理解を得られないと考える。よって本案には反対である。

議員

●議案第12号

吉見町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

内容

議会議員の期末手当の支給割合の改正。

主な質疑

問

議員それぞれの期末手当引き上げによる影響額は。

答

議員2万7600円。副委員長2万7840円。委員長2万9040円。副議長2万9640円。議長3万6840円。合計で40万2720円。

議員

提出者

反対討論

日本共産党 杉田しのぶ議員

期末手当を含む議員報酬は、人事院勧告に便乗ではなく、報酬審議会の意見をふまえ、議会の側で発議すべきである。

議員

小宮 榮議員

賛成討論

29名→22名→19名→14名と議員定数を削減し、報酬も下げてきた。しかし、下げるべきではなかったと思う。市議会議員との差は大きい。

議員

反対討論

戸谷 照喜議員

町民の収入が落ち込んでいる中で、議員の期末手当を増やすことは、町民の理解を得られないと考える。よって本案には反対である。

議員

小林 周三議員

賛成討論

合併破綻後、定数削減、報酬削減を行った。今の議員報酬では、若い世代が立候補できないのではないか。報酬審議会で市議会と町議会との差について、公平な第三者の議論をしてほしい。

議員

●議案第14号

吉見町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

内容

ごみ集積所に出された資源物の所有権を明確にするため。

主な質疑

問

資源物の持ち去り件数は。

答

平成26年は3地区、平成27年は2地区。

問

資源物の置かれている状況は。

答

かごに入りきらず、周辺に置かれていることもある。

議員

提出者

●議案第17号 平成27年度吉見町一般会計補正予算(第5号)

内容

既定の予算額に9744万2千円を追加し、予算の総額を66億3329万9千円とする。

—主な歳入—

	(1万円未満切り捨て)
○地方交付税	423万円
○分担金及び負担金	170万円
○国庫支出金	7753万円
○県支出金	△309万円
○諸収入	1038万円
○町債	650万円

—主な歳出—

	(1万円未満切り捨て)
○情報セキュリティ強化対策委託料	2245万円
○部落解放運動団体支部活動費補助金	△36万円
○社会保障・税番号制度個人番号カード発行事務負担金	344万円
○過年度障害者自立支援給付費国庫負担金返還金	929万円
○過年度障害者自立支援給付費県負担金返還金	464万円
○国民健康保険特別会計繰出金など	2995万円
○年金生活者等支援臨時福祉給付金(高齢者)	6300万円
○児童手当	△1900万円
○教育・保育施設運営委託料	248万円
○予防接種委託料	△1227万円
○空調設備設置工事(教育費)	△2720万円
○財政調整基金積立金	9016万円

支給対象者1人につき3万円

支給対象者は、平成28年度中に65歳以上となる方で、平成27年度分の住民税が課税されていない方。(ただし、住民税において、課税者の扶養親族になっている方は除きます。)

主な質疑

問

情報セキュリティ強化対策委託料の内容は。

答

国の方針に基づきマイナンバーとインターネット環境の分割と生体認証を導入するためのもの。

問

部落解放運動団体支部活動費補助金が減額となっている理由は。

答

2つの運動団体で13世帯が脱会した。差別の解消が着実に前に進んでいるためである。

問

社会保障・税番号制度個人番号カード発行事務負担金があるが、町内ですでに交付されている枚数は。

答

90枚が交付済みで、2月末までに約700件の申請があった。

問

児童手当の減額理由は。

答

出生数の減少、転出の増など、実績が見込み数を下回ったため。

問

空調設備の配管の安全性は。

答

安全性を考えたものになっている。

問

国・県に対して障害者自立支援給付費負担金の返還金が生じているが、利用者への影響は。

答

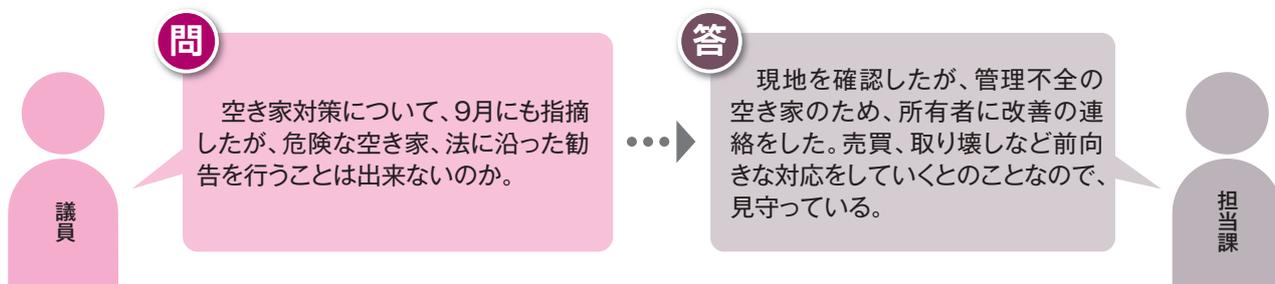
障害福祉サービスを利用している方や事業所への影響はない。

議員

提出者

平成28年度一般会計予算

委員長報告に対する質疑



反対 討論 日本共産党 岩田 晃一議員

反対理由1点目は、同和事業関連の予算。町内でも差別事象がなく、学力格差もない。また、交流目的に行われている事業であれば、地域を限定して、特別な予算をつけるのは見直すべきである。

2点目は、マイナンバー関連のシステム改修予算。現時点では国から詳細が示されておらず、不明確な予算計上であり、賛成できない。

3点目は、新ごみ処理施設建設に関連する予算。反対住民との対立を放置したまま、建設に向けて負担金を支出していくことは認められない。

賛成 討論 岩崎 勤議員

一般会計歳入では、西吉見南部地区の企業立地により、町税の大幅な増収が見込まれ、新たな雇用の創出など町のさらなる活性化につながると期待する。

歳出では時勢を捉えたさまざまな施策が新たに開始され、健康増進や生活基盤の整備にも積極的に予算配分がされており、町民生活を重視した編成となっている。7つの特別会計も、厳しい財政状況の中で、限られた財源を有効に活用している。水道事業会計は、老朽管の布設替え工事など、町の将来を見据えた取り組みがされている。

反対 討論 戸谷 照喜議員

冬期間、特に西地区の坂道は滑りやすく、危険きわまりない。このことは町当局も認識している。にもかかわらず、本予算には工事費用はもとより、調査・研究費用さえ計上されていない。身近な道路は生活の命綱だ。この軽視はもはや容認できない。よって本予算には賛成できない。

人 事

副町長の選任同意

副町長に 菅野 明雄(すがの あきお)氏 を選任同意しました。

住 所：吉見町大字小新井107番地
生年月日：昭和31年1月2日



公共交通利便性向上に向け 地域公共交通網形成計画の策定



総務建設常任委員会 予算審議報告

杉田しのぶ 委員長

平成28年度一般会計予算のうち、本委員会が所管する議会費、総務費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金及び予備費の関連科目と平成28年度特別会計予算のうち、百穴管理、下水道事業、農業集落排水事業、公設浄化槽事業、水道事業の歳入及び歳出について予算審議を行いましたので、主な内容について報告いたします。

議会事務局職員、十分な体制の確保を

以前は3人体制だった議会事務局職員が、現在2人体制となっているため、議会事務局としての業務運営が適切に行えるように、十分な体制を確保するよう要望しました。

選挙年齢の引き下げに伴う啓発の方法は

町広報紙への掲載をはじめ成人式や吉見まつりを利用した啓発チラシの配布、武蔵丘短期大学への選挙出前講座などの情報提供、フェイスブック・ツイッター等による情報発信など、若年層の投票率向上に向けた様々な取り組みを行っています。

地域公共交通網形成計画の策定の内容は

町内の公共交通機関のさらなる利便性向上のため巡回バス利用者をはじめ議員、公共交通に關係する事業者及び関係者などで構成する「地域公共交通会議」を開催し、幅広い意見を参考にした地域公共交通網形成計画を策定します。

町民税還付金を増額している理由は

法人町民税では、決算に基づく確定税額が、予定申告に基づく税額を大幅に下回り、大きな還付金が生じる場合があります。このようなとき還付が遅れると還付加算金が発生してしまうため、近年の傾向を考慮し予算を増額しました。

空き家実態調査の内容は

町内全域を対象に調査を行い、老朽化の進んだ空

き家は、特定空き家等判定調査を行います。空き家の利活用促進に役立つよう、多角的かつ詳細な調査を行います。

企業立地奨励金の増額の内容は

株式会社エコグリーン埼玉の第2年度分と株式会社ペルーナの第1年度分の奨励金で、前年度と比較し、8962万2千円の増額となっています。

八丁湖公園における地域猫活動への対応は

地域猫を減らすため、避妊・去勢手術等の実施と捨て猫防止対策が主な活動であります。来園者が不快に感じることがないように地域猫活動の趣旨の周知を図り、今後は他市町村が公園内で行う地域猫活動の事例について調査してまいります。これに対し、里親探しなどの方策も検討してほしいと要望しました。

農業集落排水事業の建設事業の委託料の内容は

観音地区及び荒子地区クリーン施設の統合及び更新に向け、処理施設等の機能診断調査を行い、今後の整備方針を決定するために行うものです。

水道事業単年度収益の見込みについて

一般家庭0.4%減少、大口需要23.3%増加を見込み、純利益は4585万2千円です。

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり可決すべきものと決した次第です。

国の新基準に対応した保育料の軽減 がん検診の受診しやすい環境整備



教育福祉常任委員会 予算審議報告

荻野 勇 委員長

平成28年度吉見町一般会計予算のうち、関連する歳入及び歳出の総務費、民生費、衛生費、教育費及び平成28年度特別会計予算の国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の歳入及び歳出について予算審議を行いましたので、主な内容について報告いたします。

マイナンバーの利用開始後のセキュリティ対策は

平成28年1月からマイナンバーの利用が開始され、マイナンバーに伴う個人情報については、法令により厳格な取り扱いを行うこととなっており、事務を行う職員にあっては、情報の紛失や漏えいが起こることのないよう管理を徹底しています。

各種がん検診委託料の増減の理由と検診の推進は

増減の主な理由は、自己負担額の見直しによるものです。がん検診の推進の取り組みとしては、特に女性特有の子宮がん、乳がん検診の受診率を向上させるため、受診環境のさらなる充実と引き続き受診勧奨を積極的に実施してまいります。

保育所の園児の受け入れ体制は

1歳児・2歳児は、定員を超えている状況ですが、保育所設置基準の保育室の面積要件を超えない範囲で必要数の保育士を配置し、受け入れ体制を確保しています。

教員の指導力向上についての具体的な取り組みは

町内全教員を対象とした学力向上のための、教育講演会や県外への教育先進地視察研修及び報告会等で指導力の向上を図っています。特に県外視察研修は、吉見町独自の施策として力を入れており、平成27年度は秋田県大仙市へ、教員7名と指導主事1名を派遣、平成28年度は県外視察研修をさらに充実していくために、旅費等の経費分として10万円を増額しました。

松山城跡測量等委託料の内容は

平成28年度に購入する土地の境界と現地測量、また物件補償に係る工作物の鑑定委託料です。公有地化は国庫補助を活用して実施していくので、次年度以降購入する土地の測量は、その土地を購入する年度の国庫補助の対象となることから、平成28年度に購入予定の土地のみの測量となります。

重複頻回訪問指導の内容は

レセプトのデータをもとに、ひと月に4か所以上、または15回以上医療機関を受診している被保険者を対象として、訪問することにより病状等を確認し、必要以上の医療機関の受診や服薬などがあった場合には、その抑制に向け指導を行っています。これに対し、薬の飲み残しに対しても指導を行ってほしいと要望しました。

認知症スクリーニングシステムが予算化され、早期発見が期待されるが発見後の対応は

専門医等で構成される認知症初期集中支援チームが対応にあたり、医療や介護サービス、地域の支援につながるよう努めてまいります。なお、平成27年度に認知症に関する情報を盛り込んだガイドブックを作成しましたので、活用しながら周知を図ってまいります。

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり可決すべきものと決した次第です。

議 案 審 議 結 果

町長提出議案

議案番号	件名	結果	岩田	戸谷	秋山	伊与田	尾崎	神田	荻野	岩崎	宮崎	杉田	小林	内野	小宮	安孫子
議案第1号	専決処分について(税条例の一部改正)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第2号	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第3号	字の区域を変更し、及び廃止することについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第4号	吉見町地域防災計画に定める大規模な工場その他の施設の用途及び規模を定める条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第5号	吉見町行政不服審査法施行条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第6号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第7号	地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第8号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第9号	吉見町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	×	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	●	—
議案第10号	吉見町一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	×	×	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	●	—
議案第11号	町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	×	×	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	●	—
議案第12号	吉見町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	×	×	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	●	—
議案第13号	吉見町重度心身障害者福祉手当支給条例の一部を改正する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第14号	吉見町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第15号	第五次吉見町総合振興計画基本構想の一部変更について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第16号	町道路線の認定について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第17号	平成27年度吉見町一般会計補正予算(第5号)	可決	●	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第18号	平成27年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第19号	平成27年度吉見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第20号	平成27年度吉見町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第21号	平成27年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第4号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第22号	平成27年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第23号	平成27年度吉見町公設浄化槽事業特別会計補正予算(第4号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第24号	平成27年度吉見町水道事業会計補正予算(第3号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第25号	平成28年度吉見町一般会計予算	可決	×	×	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	●	—
議案第26号	平成28年度吉見町国民健康保険特別会計予算	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第27号	平成28年度吉見町後期高齢者医療特別会計予算	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第28号	平成28年度吉見町介護保険特別会計予算	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第29号	平成28年度吉見町百穴管理特別会計予算	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第30号	平成28年度吉見町下水道事業特別会計予算	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第31号	平成28年度吉見町農業集落排水事業特別会計予算	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第32号	平成28年度吉見町公設浄化槽事業特別会計予算	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第33号	平成28年度吉見町水道事業会計予算	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第34号	副町長の選任同意について	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—

町長提出議案(追加)

議案第35号	平成27年度一般会計補正予算(第6号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第36号	平成28年度一般会計補正予算(第1号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—

「—」は議長のため、採決に加っていません。

町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

一般質問とは？

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長に質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。(持ち時間1人60分)

議会日よりでは本人の原稿をもとに、その内容を約700字以内で要約し、お知らせしています。

公共施設の 駐車場の利用状況は

伊与田 隆 議員



問 生涯学習施設の一般来場者と職員の駐車場をどのように区別しているのか。

答 一般来場者と生涯学習施設に勤務する職員との駐車場の区別は特にしていませんが、職員の駐車については、来場者を優先するよう配慮しています。

問 以前、町民会館の西側スペースに職員が駐車しているのを見かけたが、どのような理由で置かれていたのか。

答 過去に一般にも開放しましたが、混雑を招いたうえ、緊急時への対応に支障をきたしてしまいました。職員の車であれば、緊急時でもすぐ移動できると考え、職員用の駐車スペースとして利用しましたが、会館に一番近い所に職員が駐車しているのご意見が寄せられたことから、職員の利用はやめて来場者を優先に考え、他の場所に駐車することにしました。

問 サイクルスタンドの設置について。町には、多くの観光スポットがあるが、サイクルスタンドが設置されている場所は。

答 吉見百穴や道の駅などに設置されています。町には、荒川サイクリングロードや吉見総合運動公園など、サイクリストが集まる場所があるので、その方々に町内の観光地を巡っていただけるような取り組みを進めていきたいと考えています。

問 鉄道駅の周辺にレンタサイクルの設置の考えは。

答 ご提案のレンタサイクルで町内を巡っていただくことは、町の活性化にもつながると考えます。今後、調査研究していきます。



フレサよしみ駐車場



「学校のトイレに行けない症候群」への対策

▶▶ 日本共産党 岩田 晃一 議員

問 今も昔も変わらずに主に男子児童の間で休み時間に個室トイレを利用した人をからかう状況がある。からかわれるのを嫌がり、トイレで大便が出来ずに我慢するあまりに胃腸障害や便秘、さらに授業に集中できなかつたり、人のいない授業中に保健室に行くと言ってトイレに駆け込んだり、あるいは学校を早退して家のトイレに急ぐ児童もいる。そんな状況を学校は把握しているのか。そして何らかの対策を行っているのか。

答 普段から「排せつ行為は食べることと同じで、人として当たり前のことである。からかってはいけない」と指導している。調査した結果1件の事案があり、からかった児童に同じように指導した。

問 男子児童の場合、小便器がある限り個室に入れば大便とみられる。どの学校もトイレは老朽化してい

る。敷地内すべてのトイレをとすると費用がかさむが各学年の教室に一番近いトイレだけでも小便器を取り払い完全個室洋式化できないか。

答 各家庭の便器は、ほぼ100%洋式である。私立の学校では完全個室化したところもあるようだが、その後進んではない。それは公共の場ではデパートでもどこでも小便器があるので、慣れておく必要があるから進まなかったのだと思う。からかわれる以外でも「汚い」「臭い」といったこともあり、町では洋式化に向けて進んでいる。今後は各学校の教師と協議しながら進めていく。

その他の質問
・汚水の処理の現状と問題点は



小学校のトイレ

献血活動の推進を

▶▶ 神田 隆 議員



問 町内の献血者状況は。

答 平成27年度においては、埼玉県赤十字血液センターからの依頼に基づき20会場、延べ556人をめどに取り組んでいます。現在18会場が終了し、延べ513名の方のご協力をいただいています。

平成26年度は、472名の方が採血されており、16歳から19歳が30名、20歳代54名、30歳代81名、40歳代174名、50歳代103名、60歳代30名となっています。

問 将来にわたって安定した献血者を確保するためには、小中学校の頃から献血教育を行い、献血の必要性、仕組み等の学びが必要と思うが献血教育は。

答 献血を支えていくためには、将来を担う子供たちに日頃から献血の意義や重要性を啓発していくことが、大切なことと考えています。教育委員会としても、町

内各学校に対し血液に関する出前講座、血液センターへの社会科見学等について周知し血液の働き、献血の意義、献血事業等に理解を深めるよう指導しています。

問 必要な血液を献血により安定的に確保するための促進活動の協力体制は。

答 町内の献血は、役場をはじめ大規模事業所、団体を中心に献血の趣旨を理解いただき、日本赤十字社に登録した「血液サポーター」並びに町内の協力事業所を対象とし、年2回程度、献血のご協力をいただいています。町内の献血サポーターは、4事業所が登録されており、献血サポーターには登録されていない協力事業所は、10事業所です。



献血バス



子育て支援と 学ぶ環境の充実を

▶▶ 公明党 秋山 真美 議員

問 子育て世代の負担・悩み・不安は多岐にわたり家族構成、収入、心身の状態など一人ひとり状況が違う。多岐にわたる相談をワンストップ窓口で受けるのが、子育て世代包括支援センターである。設置の考えは。

答 国の構想では、平成32年度までに地域の実情を踏まえながら全国展開を目指していくものとしている。町では、保健センターと子育て支援センターが連携し、切れ目のない支援を実施しており、子育て世代包括支援センターの基本要件を満たし、その機能を果たしていると考えている。今後もこの制度の動向や近隣市町村の状況を調査研究する。

問 町内に地域未来塾の設置の考えは。

答 様々な理由で学習支援が必要な中・高校生を対象に行う学習支援事業の地域未来塾設置は、その必要性の有無など調査研究する。

問 小・中学校へデジタル教科書の導入、無線LAN設置、トイレの洋式化の推進を。

答 文部科学省で示した平成29年度までの「教育のIT化に向けた環境整備4か年計画」にも示されており、国からの地方財政措置も講じられる。教育現場の実態や先進事例など参考にIT化により教育の質が高められるように努める。トイレの洋式化は、避難所としての機能もあるので、計画的に進めていく。

その他の質問

- ・がん対策の予防に関わる分野
- ・不妊治療助成制度の更なる充実
- ・循環型社会の構築、リユースの推進
- ・口座振替の推進とモバイルレジを活用した納税



1月18日の降雪による 被災農家への支援を

▶▶ 日本共産党 杉田しのぶ 議員



問 今回の降雪により、被害にあったビニールハウスの状況と町で行う支援の内容は。

答 野菜ハウスが5棟、育苗ハウスが12棟、鶏舎用のハウスが3棟、資材置き場用のハウスが10棟で延べ30棟。21戸の農家に被害があった。町では県と同様に、農業協同組合等が貸し付ける農業災害資金の利子分を支援していく。

問 平成26年2月の大雪の際には、国県を挙げて様々な支援が行われた。その内容と町の負担額は。

答 ①農業用ハウスの撤去、約230万円。②農業用ハウスの再建、約3200万円。③ビニールハウス等の廃棄処理、約36万8千円。④次期作への補助、約338万4千円。⑤農作物災害見舞金、728万8680円となっている。

問 2年前の大雪の際には、支給要件等もあったが5

つの支援、4千万円を超える町負担分が支出されている。「町の基幹産業である農業を守る」という立場で重要な政策として考え、今回、国が対策を講じないのであれば、せめて町独自で2年前の町負担分と同等の支援をしていくことを求めたい。今回被災された方の中には、2年前なら支援の対象となっていた方もいる。雪害という同じ理由で被災した農家に町独自の支援することについて、町長の考えは。

答 2年前の大雪の際は、町の特産品であるいちごが壊滅的な被害を受け、大変な危機感を抱いた。今回の被害は前回と比較すると軽微であり、被災農家からも救済の求めはなく、独自支援は考えていない。

その他の質問

- ・土砂崩れへの予防対策
- ・人家の少ない道路の除雪を



雪害にあったビニールハウス

松山城跡の活用と 遊休農地の対策は

» 尾崎 豊 議員



問 国指定史跡の活用は大切です。松山城跡の今後の保存・活性化が大切であり、今現在の松山城跡の状況は。

答 平成20年3月に国指定史跡となり、平成21年度に松山城跡保存管理計画書を策定しました。現在、計画書に基づき保存と管理・活用を実施しています。松山城跡の公有地化については、平成26年度に概算の土地鑑定を実施し、平成27年度は、国・県と協議を重ね準備を進めてきました。今後については、平成28年度一般会計当初予算に計上し、審議をお願いしているところです。平成28年度から公有地化を進める予定です。

問 松山城跡を活用したイベントの開催は。

答 保存・管理は重要です。この史跡を後世に伝えるとともに大切な観光資源です。比企城館跡群との広

域的な連携も視野に入れ、可能な範囲で活性化を図っていきます。

問 遊休地は点在している状況であり、集約するには難しい取り組みです。果樹等の苗木代金を助成し果樹団地を育成する取り組みは。

答 遊休農地は全国的な課題です。町では遊休農地に限らず、点在する農地を集約するため農地中間管理機構を活用し、農地集積、集約に取り組んでいます。果樹団地の育成について、今後調査研究していきます。

問 松山城跡、保育所、フレサの駐車場の整備を

答 松山城跡は、現在吉見百穴の駐車場を利用している状況です。フレサについては、施設の規模に適した駐車場が設置されています。



国指定史跡 松山城跡

高齢者福祉のため 「いきいき長寿推進課」 の新設を

» 小林 周三 議員



問 町ではかつて、組織の統廃合を行った経緯がある。例えば、水道課と下水道課を統合し水生活課にした。また、福祉課と町民課にあった児童係を子育て支援課にした経緯がある。そこで新たな課として立ち上がった子育て支援課は、その機能を十分に発揮している。そこで高齢者の健康長寿を考えると「いきいき長寿推進課」などの名称で、これから増える高齢者を担当する課を新設して、町民の健康長寿を推進するため、健康増進、健康予防、介護予防などを統括してはいかがか。

答 提案の新しい課は、高齢者の健康推進に特化した課になる。町では現在健康長寿を進めているところで、町の状況は他の市町村よりかなり良い状況になっている。後期高齢者医療費の平成28年度見通しでは、比企郡で一番低い金額になる。高いところと比較して

一人当たり20万円も安い。高齢者への対応をそれぞれの課が全体的かつ総合的に行って成果がでてしていると認識している。貴重なご提言として受け止め検討していきたい。

問 公共施設等管理計画について

答 本町の統廃合なども含めた公共施設の総合的な維持管理については、施設の利用状況や老朽化の状況などを調査し、すでに保育所、中学校の改修などに取り組んでいる。また、総合管理計画策定については現在、公共施設等の現状及び将来の見通しを把握・分析しており、平成28年度中に策定を完了する予定である。



パークゴルフを楽しむ元気な高齢者



「就学援助制度」の 周知徹底を

》戸谷 照喜 議員

問 働く人の収入が落ち込んでいる中で、子どもの貧困問題がクローズアップされている。また貧困が原因とみられる児童虐待も後を絶たない。生活保護世帯の推移はどうなっているか。

答 平成27年は89世帯125人となっている。この5年間で17世帯20人増加しているが、主に単身世帯の増加である。また児童虐待が疑われる案件として6世帯、14人の見守りを行っている。

問 小・中学生が安心して勉強ができるためにも、特に生活が困難な家庭の子供には就学援助制度の適用がある。現在、何名がこれを利用しているか。

答 今年1月末現在、110名の児童生徒が利用している。

問 いい制度であるのに、問題はこの制度を知らない人が多い。町、教育委員会では広報紙やホームペー

ジで知らせているとのことだが、それだけでは不十分ではないか。もっと別の形でも知らせるべきだ。

答 現在は入学時に全員にお知らせを配布している。今後は全家庭に配布するかどうか検討していく。

問 携帯電話、特にスマートフォンの利用実態と子供たちへの影響が大問題になっている。親子での会話の欠如、学習時間や生活の乱れなど、現状ではメリットよりもデメリットの方が目につくがどうか。

答 スマートフォンは町内でも小学生が約41%、中学生が約60%所持している。1日3~4時間以上利用している実態もあるが、スマートフォンの利用については家庭教育の範ちゅうである、と申し上げたい。

※就学援助制度とは、経済的理由で就学困難と認められる小中学生の保護者に対し、市町村が学用品・給食費等の費用の一部を援助する制度。



西が丘小学校

町議会を傍聴してみませんか

次の議会は**6月定例議会**

6月7日(火)から開催される予定です。

詳しいことは町議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0493-63-5024 (ダイヤルイン)



傍聴者の 声

3月2日議会傍聴に出かけ、イヤホンの設定、調整をしていただき、議員、町長さんなどのやりとりもはっきり聞こえ、正面のモニターにも映し出され、しっかり聞きとることが出来、本当によかったと実感しました。実際に体験できた者の一人として、耳の弱い方々が一人でも多く傍聴されるよう願っています。(原文を要約)80代男性

比企広域市町村圏組合議会定例会

» 伊与田 隆 議員

日 時 平成28年2月15日 午前10時から

場 所 東松山市議会議場

出席議員 安孫子和子 伊与田隆

管理者より行政報告の後、議案の説明があり、上程された議案は21議案です。

..... 付議された主な議案

○議案第12号 比企広域市町村圏組合東松山斎場の指定管理者の指定について

富士建設工業株式会社・有限会社戸口工業グループといたしたいとするものです。

○議案第17号 平成28年度比企広域市町村圏組合一般会計予算について

総額を7千600万円と定めたいとするもの。

○議案第18号 平成28年度比企広域市町村圏組合消防特別会計予算について

総額を31億4700万円と定めたいとするもの。

○議案第19号 平成28年度比企広域市町村圏組合斎場及び霊きゅう自動車事業特

別会計予算について

総額を1億3700万円と定めたいとするもの。

○議案第20号 平成28年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害支援区分審査会特別会計予算について

総額を8100万円に定めたいとするもの。

○議案第21号 比企広域市町村圏組合公平委員会特別会計予算について

総額を60万円と定めたいとするもの。

いずれも原案のとおり可決されました。



埼玉中部環境保全組合議会定例会

» 杉田 しのぶ 議員

日 時 平成28年2月17日 午前9時から

場 所 埼玉中部環境センター会議室

出席議員 尾崎豊 荻野勇 杉田しのぶ

小林周三

平成27年4月から平成28年1月までの管内のごみ処理量は、可燃ごみと粗大ごみ合わせて3万1071.04tであり、前年と比較して307.95tの減となっています。この他に受託ごみとして坂戸市から776.12t、大里広域市町村圏組合から1600.96t、小川地区衛生組合から245.45tの可燃ごみの受け入れをし、処理されています。

次に平成27年10月22日付けで、措置請求に対する住民訴訟が地元住民4名から提訴されました。訴訟は同じ原告から吉見町長、埼玉中部資源循環組

合管理者も訴えられており、それぞれの訴訟の内容が関係していることから、代理人弁護士として吉見町の顧問弁護士に3団体とも委任をし、着手金を17万円支払い、第一回口頭弁論が11月25日に行われました。

..... 付議された議案

○議案第1号 埼玉縣市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について

○議案第2号 平成27年度埼玉中部環境保全組合一般会計補正予算(第2号)

○議案第3号 平成28年度埼玉中部環境保全組合一般会計予算

いずれも原案のとおり可決されました。

埼玉中部資源循環組合議会定例会

» 岩崎 勤 議員

期 日 平成28年2月18日 午前10時から

場 所 吉見町議会議場

出席議員 安孫子和子 岩崎勤 小宮榮

議員提出議案が1件と管理者提出議案が10件です。

付議された主な議案

○議案第1号 埼玉中部資源循環組合議会委員会
条例の一部を改正する条例制定に
ついて

川島町が組合に加入したことによる議会委員会条
例の改正で、可決後に交付されました。

○議案第1号 埼玉中部資源循環組合財政調整基
金条例の制定について

○議案第2号 埼玉中部資源循環組合施設整備基
金条例の制定について

○議案第4号 埼玉中部資源循環組合個人情報保
護条例の一部を改正する条例制定
について

○議案第7号 埼玉中部資源循環組合一般職職員
の給与に関する条例の一部を改正
する条例制定について

○議案第8号 埼玉中部資源循環組合一般職職員
の旅費に関する条例の一部を改正
する条例制定について

○議案第10号 平成28年度埼玉中部資源循環組
合一般会計予算

いずれも原案のとおり可決されました。

また、組合議員に異動があり、新たに選任された
小川町の根岸成美議員、嵐山町の大野敏行議員、桶
川市の江森誠一議員、川島町の森田敏男議員、石川
征郎議員からそれぞれ自己紹介がありました。

北本地区衛生組合議会定例会

» 秋山 真美 議員

日 時 平成28年2月19日 午前9時から

場 所 北本地区衛生組合議場

出席議員 秋山真美 神田隆 宮崎雄一

吉見町の平成27年(1月~12月)の搬入量は、2万
7006.4kl。前年より234.24kl、0.87%の増。増の
主な理由は、埼玉県衛生研究所の汚泥引き抜きが始
まったことです。

議案第1号では質疑がありました。バチルス菌の
効果の質問には、定期的に投入し繁殖させることで、
有機物の分解・水質の浄化・発生汚泥の減量・臭気
の抑制効果があり、薬品の使用量・電気使用量が削減
されたとの答弁。また、予算規模の削減が大きい理
由の質問には、汚泥脱水機の入れ替えが終了したこ
ととバチルス菌の効果、サンデー方式の導入も関係
しているとの答弁。(サンデー方式とは、日曜日など
運転を休止すること)

付議された議案

○議案第1号 平成28年度北本地区衛生組合歳
入歳出予算

歳入歳出予算の総額は3億173万5千円で、前年
度と比較し7758万4千円、20.45%の減です。平成
28年度の吉見町の負担金は、5764万9千円で前年
度と比較し93万円、1.64%の増です。

○議案第2号 北本地区衛生組合議会の議員その
他非常勤の職員の公務災害補償等
に関する条例の一部改正について

○議案第3号 埼玉県市町村総合事務組合の規約
変更について

いずれも原案のとおり可決されました。

比企郡町村議会議員研修会

平成28年2月9日(火)、フレサよしみで開催され、管内8町村から103人の議員や町長が参加しました。山梨学院大学教授の江藤俊昭氏を講師に迎え、「住民と歩む議会 ～地方自治の根幹としての議会を作動させる～」をテーマに、地方議会の活性化について講演が行われました。



議会だより編集特別委員会 視察研修

平成28年1月29日(金)、委員会のメンバー6名が寄居町議会を訪問し、議会だよりの編集方法について視察研修を実施しました。



埼玉県町村議会議長会表彰

宮崎 善雄氏 (前議長)
 杉田 しのぶ議員

表紙の題字



西小学校6年生
 新巻 太海(あらまき たかみ)君

将来の夢は、国の仕事につきたいと思っています。今は勉強にスポーツに頑張っています。

年間100万人が利用する道の駅いちごの里よしみでの1枚。春の暖かさにさそわれて大勢の子どもたちが元気に遊具を楽しんでいました。

表紙の写真によせて



4月6日(水)撮影

編集後記

平成28年度もスタートし1か月が経ち、新緑がまぶしく、爽やかな風薫る季節となりました。めまぐるしく変化する中で、夢と希望を持って歩み出した人達も多いと思います。夢の実現に向けて頑張っしてほしいと思います。しかし季節の変化は、花粉症から熱中症へと移り紫外線も容赦なく降り注いできます。体調には充分に気をつけてください。吉見町議会も新たな設備を議場に導入し、改革も進めています。是非議場の変化を肌で感じてみてください。皆様のご意見等を伺いながら、より伝わりやすい議会だよりを心がけていきます。(尾崎)



議会だより編集特別委員会

委員長	秋山 真美
副委員長	杉田 しのぶ
委員	荻野 勇
委員	尾崎 豊
委員	戸谷 照喜
相談役(議長)	安孫子 和子

この議会だよりは再生紙を使用しています。